第2次広島県肝炎対策計画（平成24～28年度）の概要

資料１－１

第2次肝炎対策計画の全体目標と目指す姿

全体目標　「肝がん」になる前に早期発見・早期治療
目指す姿　肝炎ウイルス検査が陽性であった県民全てが医療機関を受診する。

現 状 と 課 題

- 本県は肝がんによる死亡率が高く，年間約1,000人の方が肝がんで死亡。
- わが国の肝がん死亡の8割以上はB型肝炎ウイルス（HBV）またはC型肝炎ウイルス（HCV）の持続感染に起因している。
- 持続感染者（キャリア）は自覚症状がないことが多く，肝炎を知らないキャリアが存在している。
- キャリアであることを認識していても，早急な治療の必要性を認識しにくく，約3割の者は医療機関を受診していない。
- 7割の職域は肝炎ウイルス検査体制を整備しておらず，職域での受検が進んでいない。

肝炎対策の各施策

＊＿＿ は新規事業

課題への対応方針【Plan】	事業実施（H27年度）【Do】	評価指標【Check】	H28年度事業(案)【Action】
①肝炎に対する正しい知識の普及啓発			
● 県民が肝炎及び感染予防に関する正しい知識を持つ。 ● 肝炎患者等が社会において安心して暮らせる環境をつくる。 ● 肝炎等についていつでも相談できる窓口を整備する。	● 肝疾患相談室の設置（資料1-2） ● 市民公開講座及び肝臓病教室の開催（資料1-2） ● 患者講習会の開催（資料1-2） ● 肝炎ウイルス検査啓発ｷｬﾝﾍﾟｰﾝの実施（資料3） ● 肝疾患ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの養成・活用（資料7）	● 肝疾患相談室の相談件数 ※H27.4～H28.1 拠点病院 / 件　数 広島大学病院 1,513件 福山市民病院 1,119件 ● 肝炎ウイルス検査啓発ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ⇒チラシ800枚 ● 市民公開講座（各1回）・肝臓病教室（各4回） 会　場 / 市民公開講座 / 肝臓病教室 広島大学病院 88人 延べ80人 福山市民病院 114人 延べ238人 ● 患者講習会 会　場 / 参加者数 広島大学病院 78人 福山市民病院 63人	● 肝疾患相談室の設置 ● 市民公開講座及び肝臓病教室の開催 ● 肝疾患ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの養成・活用 ● 「Teamがん対策ひろしま」登録企業等に対し，従業員に対する肝炎に関する知識の普及啓発を要請
②肝炎ウイルス検査の受検促進			
● 全ての県民が1回は肝炎ウイルス検査を受検できる体制を整備する。 ● 肝炎ウイルス検査実施体制整備済みの職域を50%以上とする。	● 無料肝炎ウイルス検査の実施（資料1-2） ● 薬局薬剤師（がん検診ｻﾎﾟｰﾄ薬剤師）による肝炎ウイルス検査受検勧奨（資料1-2） ● 肝炎ｳｲﾙｽ検査啓発ｷｬﾝﾍﾟｰﾝの実施（資料3） ● 出張肝炎ウイルス検査の実施（資料4） ● 事業主・健診機関への協力依頼（資料6）	指標 / 目標（平成28年度） / 平成27年度 目標 / 平成27年度 実績※ 肝炎ウイルス検査体制整備済みの職域の割合 / 50%以上 / 46.6% / 30.0%【H25】 ＊平成28年度実態調査予定 達成状況：未確定だが，平成28年度の目標達成には努力を要する	● 無料肝炎ウイルス検査の実施 ● 薬局薬剤師（がん検診ｻﾎﾟｰﾄ薬剤師）による肝炎ウイルス検査受検勧奨 ● 出張肝炎ウイルス検査 ● 協会けんぽ加入企業に対し，肝炎ウイルス検査受検勧奨のチラシ配布
③病態に応じた適切な肝炎医療の提供			
● 肝炎ウイルス検査後の受診勧奨・受診確認等のﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ体制を整備する。 ● 肝炎ウイルス検査で発見されたHBVキャリアの受診率を65%以上とする。 ● 肝炎ウイルス検査で発見されたHCVキャリアの受診率を75%以上とする。	● 肝炎治療に対する医療費助成の実施（資料1-2） ● 肝疾患ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの養成・活用（資料7） ● 肝疾患ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟｼｽﾃﾑの運用（資料8） ● 初回精密・定期検査費用の助成（資料8）	指　標 / 目標（平成28年度） / 平成27年度 目標 / 平成27年度 実績※ HBVキャリアの受診率 / 65%以上 / 64.4% / 64.4% HCVキャリアの受診率 / 75%以上 / 73.6% / 73.5% ＊平成27年度実績はH28.1末現在 達成状況：順調	● 肝炎治療に対する医療費助成の実施 ● 肝疾患ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの養成・活用 ● 肝疾患ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟｼｽﾃﾑの運用 ● 初回精密検査費用の助成 ● 定期検査費用の助成対象拡大